

靖国神社に161人が参拝

みんなんで参拝国会議員の会

終戦の日

超党派の国会議員でつくる「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久参議院議員)は八月十五日午前十一時、奥野信亮・総務、佐藤正久・外務、水落敏栄・文部科学兼内閣府、渡嘉敷義美・環境の四副大臣ら百六十一人(代理含む)の衆参国会議員が靖国神社に揃って昇殿参拝した。なお今年関係の参拝はなかった。



参拝に「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」=8月15日、靖国神社で

終戦の日の八月十五日、九段坂界隈は靖国神社、千鳥ヶ淵戦没者墓苑に参参列者など、尊い一命を頭に向かう参拝者が長蛇の列をなす中で特に、若者の参拝者が目立つようになり靖国神社への関心の高さが窺えた。

午後十一時、「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」に所属する国会議員らは、尾辻会長を先頭に、本殿に進み、衆参国会議員百六十一人(代理含む)が昇殿参拝した。参拝後の記者会見で、安倍総理の参拝見送りについて、尾辻会長は「国際的な影響も判断した上だ」と思っており、英霊も理解をなさるかなと思う」と記者の質問に答えた。

また、今回も安倍首相の参拝はなかった。

水落会長が現地を視察

樺太・千島戦没者慰霊碑

日本遺族会が厚生労働省から委託を受け、日本千島戦没者慰霊碑の維持管理状況を調査するため、八月十六日から十九日、水落会長が現地を視察した。

30年度概算要求

年末に向けて運動を推進

財務省は八月三十一日、平成三十年度政府の一般計予算案に対する省庁からの概算要求を締め切った。要求額は四年連続で百兆円を突破し、前年とほぼ同じ水準となるとみられる。

遺族の処遇改善等に關する概算要求額は次のとおり

- 一、遺族救済事業 三億九千九百九十九万円
- 二、遺族救済施設事業 五億九千九百九十九万円
- 三、戦没者遺族等に対する給付金 八千九百九十九万円
- 四、昭和三十九年度 八千九百九十九万円

本会では、年末の予算編成に向け、概算要求額の完全実現を目指し、陳情運動を進めていく。

慰霊大祭を斎行

第31回追悼国民集会も

英霊にこたえる会が主催する「第31回追悼国民集会」は八月十五日、東京・靖国神社で午前九時から斎行された。大祭には水落会長、市来徳之助副会長(本会副会長)をはじめ自衛隊の統合・陸上・海上航空幕僚長(各代表)、船橋市長、中央参加団体など約三百五十人が参列した。

大祭は拓殖大学吹奏楽部の演奏により金鐘で国歌「君が代」を斉唱。次に、修成、献儀に続いて、

斎主の祝詞奏上、寺島参事三会長が祭文を奏上した。最後は献儀のち参列者全員が本殿に進み、玉串を捧げ参拝した。

また同日、午前十二時十分からは、英霊にこたえる会と日本会議共催の「第三十一回戦没者追悼国民集会」が靖国神社参道の特設テントで開催され、約五百人が参列した。

集会は国歌斉唱、靖国神社参拝、一叙の詔書(玉音)の拝聴のち、主権者を代表して寺島会長と、田久保忠衛日本会議会長がそれぞれ挨拶の後、元朝日新聞編集委員の井川一久氏、参議院議員の佐藤正久氏、皇室ジャーナリストの高清水有子氏ら各界代表から提言があった。正午には、日本武道館で開催されている「全国戦没者追悼式」にあわせて参加者全員で黙祷を捧げたのち天皇陛下のお言葉を拝聴した。

みんなんで参拝

衆・参国会議員

平成二十九年八月十五日、「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した百六十一人(代理人含む)の衆・参議員は次のとおり。

(党別別、敬称略)

議長本人参拝

衆議院

【自民党】秋本真利、穴見陽一、石川昭政、石原

宏高、井上信治、衛藤征士郎、大串正樹、大西英男、大西幸幸、岡下昌正、奥野信亮、岸信夫、堀田正人、高田佳和、新倉正孝、高市早苗、高島修一、田村憲久、土屋正忠、かしまなおみ、長尾敏弘、中谷元、根本匠、根本幸典、野中厚、平井たかや、星野剛士、堀内詔子、三

ツ林裕巳、宮川典子、築和生、山口俊一、山下貴司、山田賢司、渡辺博道、民進党 重徳和彦、原美、村岡敬英

【日本維新の会】河野正美

【無所属】武蔵野也

参議院

【自民党】赤池誠章、石井正弘、磯崎仁彦、岩井茂樹、江島隆、太田厚江、尾野秀久、小野田紀美、北村経夫、佐藤信秋、佐藤正久、山東昭子、塚田

うえの賢一郎、江藤拓、大塚高司、大塚拓、大野敬太郎、大見正、加藤勝信、金子、義、幸春之、金田勝年、神山佑市、川崎二郎、堂家一郎、神田小松彰三、後藤正純、小松裕、佐田二郎、左藤栄、堀谷立、鈴木洋司、瀬戸隆一、武井俊輔、竹本直一、田中和徳、桐橋泰文、田野瀬太道、津島淳、土居聖子、寺田稔、渡海紀三朗、富樫博之、

永岡惇子、長坂康正、中谷真一、西川公也、西村明宏、西村康弘、丹羽秀樹、藤原康弘、原田憲治、福井照、藤丸敏、古川慎久、松本純、三ツ矢憲生、三原朝彦、宮内秀樹、望月謙夫、保岡興治、山口春、山本公一、山本幸太郎

【日本維新の会】片山虎之助

【自民党】青木一彦、青山繁晴、朝日健太郎、有村昭子、井原功、宇都隆

【無所属】アントニオ猪木

日までの四日間、水落敏栄本会会長、他事務局職員一人を派遣した。

一行は十六日、羽田空港から新千歳空港に向かい、新千歳空港で国際線に乗り継ぎ、ユジノサハリンスクに到着。

翌十七日、平野隆一在ユジノサハリンスク日本国総領事、松本孝弘副領事の同行を得て慰霊調査に向かった。午後二時三十分、慰霊碑の維持管理を担うスミルヌイフ地区行政政府を表敬、コジン

みんなんで参拝

衆・参国会議員

平成二十九年八月十五日、「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した百六十一人(代理人含む)の衆・参議員は次のとおり。

(党別別、敬称略)

議長本人参拝

衆議院

【自民党】秋本真利、穴見陽一、石川昭政、石原

みんなんで参拝

衆・参国会議員

平成二十九年八月十五日、「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した百六十一人(代理人含む)の衆・参議員は次のとおり。

(党別別、敬称略)

議長本人参拝

衆議院

【自民党】秋本真利、穴見陽一、石川昭政、石原

みんなんで参拝

衆・参国会議員

平成二十九年八月十五日、「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した百六十一人(代理人含む)の衆・参議員は次のとおり。

(党別別、敬称略)

議長本人参拝

衆議院

【自民党】秋本真利、穴見陽一、石川昭政、石原

みんなんで参拝

衆・参国会議員

平成二十九年八月十五日、「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した百六十一人(代理人含む)の衆・参議員は次のとおり。

(党別別、敬称略)

議長本人参拝

衆議院

【自民党】秋本真利、穴見陽一、石川昭政、石原

みんなんで参拝

衆・参国会議員

平成二十九年八月十五日、「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した百六十一人(代理人含む)の衆・参議員は次のとおり。

(党別別、敬称略)

議長本人参拝

衆議院

【自民党】秋本真利、穴見陽一、石川昭政、石原

みんなんで参拝

衆・参国会議員

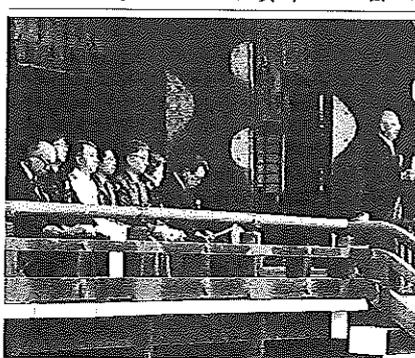
平成二十九年八月十五日、「みんなんで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した百六十一人(代理人含む)の衆・参議員は次のとおり。

(党別別、敬称略)

議長本人参拝

衆議院

【自民党】秋本真利、穴見陽一、石川昭政、石原



祭文を奏上する寺島参事三英霊にこたえる会会長=8月15日、靖国神社で



コジンスキー地区長らと会談する水落敏栄会長(右中央)=8月17日、スミルヌイフで

好業 友事 霊善 慰親

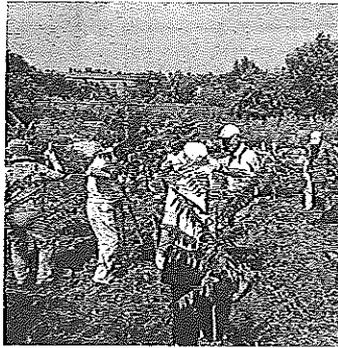
旧満州、旧ソ連を実施

亡き父への思いを語る

日本遺族会主催の平成二十九年「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」が始まりました。八月一日からの旧満州を皮切りに、来年三月の中国までの間に延べ十九回実施する予定で、各戦域を訪れ亡き父等の戦没地を巡り慰霊追悼を行うとともに、各地で小学校や病院等を訪問し、現地の方々との友好親善を深めていく。

旧満州

日中友好訪問団(総括 靖国会館で結団式を行う 団長・柴田義経愛知県遺族連合会会長、全国の遺族連合会代表)は八月一日、東京・靖国神社内の靖国会館で結団式を行い、翌二日、羽田を出発し北京に向かった。



環境保全の植林活動を行う団員ら = 8月8日、仙台市郊外の演武風情村で

代表十九人は八月一日、東京・靖国神社内の靖国会館で結団式を行い、翌二日、羽田を出発し北京に向かった。

到着後、二班に分かれA班はハイラル、ハルビン、長春、瀋陽方面へ、B班は黒河、牡丹江、延吉、長春、瀋陽等、広大な地域をバスや航空機を利用してするなど、亡き父が見たであろう山河、最終地と思われる街並みや旧収容所跡地、病院等、緑の地を訪れ、それぞれ選擇した。

同日域で散華された多くの霊の哀情を折った。社会奉仕としてA班は、瀋陽市郊外の清風風情村にて槐樹を植林し、B班は中国と北朝鮮との国境付近の閔門市郊外(豆満河の対岸は北朝鮮)で、松の苗木を一人一人丁寧に植林し、訪問団のもう一つの目的である環境整備活動に努めた。

一団合流後の九日夜には、在瀋陽日本国総領事館代表、瀋陽市人民代表と大会委員の幹部らを招いて、懇談会を開催し現地の関係者と意見交換を図る。また、慰霊祭はホテルの一角で行い、故郷から持参した思いの品々や家族の写真を飾り、亡き父への思いを涙ながらに語りかけるとともに、

品などを幼稚園と孤児院に贈呈し、施設敷地内では記念植樹を行った。二十八日には、風雨に見舞われながらハバロフスクの日本人死亡者慰霊碑で、在ハバロフスク日本国総領事館の総領事参列のもと、追悼式を挙げた。

旧ソ連から副柱を奉持 抑留中死亡者遺骨収集団

日本戦没者遺骨収集推進協会は、旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集派遣を七月十四日から八月九日まで実施した。本会からは、ハバロフスク地方第二(次に二人)、クラスノヤルスク地方に四人、ザバイカル地方に二人が参加協力した。

ハバロフスク地方第二遣骨収集団は、ソールネチヌイ地区コリン村の第四九二三野病院に居住地墓地及び第九二二収容所、第四九三野病院で遺骨収集に従事し、三十五柱の遺骨を収容した。クラスノヤルスク地方遣骨収集団は、セーベロ

エニセイスク地区ミハイルフスキー村にある第三十四収容所第九支部埋葬地で遺骨収集を行い、二十七柱を収集した。ザバイカル地方遣骨収集団は、昨年引き続き、コロトク地区フーシシカ村にある第五十二収容所第二支部埋葬地で遺骨の発掘にあたり、九十二柱を収容した。

各派遣団から厚生労働省へ遺骨が引き渡される = 8月9日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

遺児の参加者募集

募集要項については次のとおり。
▼時期及び地域 実施概要参照。
▼参加費 10万円
※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行うため、集合場所まで及び解散場所からの交通機関はご自身の手配と。また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続手数料等は個人負担となる。

▼参加資格 戦没者の遺児。二十八年度参加者を除き、複数回の応募が出来る。
▼申込方法 在任する各都道府県遺族会事務局へ。
参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目の全てに記入を要する。事前に申込用紙を取り寄せていただき、記入

項目に不明な点(戦没者の部隊名等)があれば各遺族会に相談し条件を満たしたうえで提出願いたい。なお、申込多数の場合は選考となる。
また、巡拝地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期または中止となる場合があるので、予めご了承願いたい。

※フィリピン(二次) 地域のミンダナオ島の訪問は現地治安悪化の為、已むなきの中止にまつ。

実施概要

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 ミャンマー(1次)	平成29年 12月12日~12月21日	60人	10月17日
2 台湾・パシフィック	平成30年 2月1日~2月7日	20人	12月1日
3 東部ニューギニア(2次)	平成30年 2月7日~2月14日	42人	12月7日
4 ミャンマー(2次)	平成30年 2月26日~3月7日	60人	12月22日
5 フィリピン(2次)	平成30年 3月13日~3月20日	120人	1月12日
6 中国	平成30年 3月22日~3月30日	80人	1月22日

(特定地域)

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 西部ニューギニア	平成30年 1月18日~1月27日	36人	11月17日
2 ビスマルク諸島	平成30年 2月7日~2月14日	36人	12月7日
3 マーシャル・ギルバート諸島	平成30年 3月10日~3月18日	36人	11月10日

本会への賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願している本会への賛助金につきましては、ご賛助金いただきました左記の方々に、お礼申し上げます。
なお、大衆会館ではございますが都道府県別名については、送金方法により居住地域が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。
賛助者名(敬称略)カ

タカナ名は銀行振込(漢字名は現金書留等) ヨシダトシコ、ヤスハラ キョウコ、カンワバラキ ノリ、コサカタエコ、シ ミスタケヒト(以上、八名) 月一日から八月末日まで 皆様からいただきました 賛助金は、本会が実施 する各種慰霊事業などの 活動費用に利用させてい ただいております。 誠にありがとうございます。

内治、表音雄、石田昭 重信、谷崎隆子、吉 崎龍平、鳴瀬貴賢、岡田 俊一、佐々木久光、山本 剛司、原貴亮、佐藤信 中北智恵、稲垣英、石垣

本会事業参加者の皆様へ 本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報は「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

日本遺族会への賛助金のお礼

日本遺族会では、戦没者の安寧祈願や遠隔慰霊、慰霊友好親善事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛助いただけますようお願い申し上げます。

●郵振口座 00102694980
●みずほ銀行 九段支店 00102694980
●ゆうちょ銀行 九段支店 00102694980

※口座番号：郵便局から日本遺族会へ送金する際は「日本遺族会」



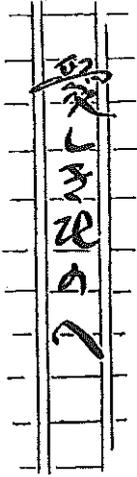
各派遣団から厚生労働省へ遺骨が引き渡される = 8月9日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

共同記者会見を開催 本会とOBONソサエティ

日本遺族会は八月十三日、千代田区の千代田会館で戦没者の遺品の返還活動が続ける米国の非営利団体「OBONソサエティ」との共同記者会見を開催した。会見には、水落敬栄本会会長、OBONソサエティ代表のレックス・ジーク、敬子夫妻、また、遺族へ日章旗を返還するために来日した元海兵隊員のマービン・ストロンボさんが出席した。

日本遺族会は、戦没者「寄せ書きの丸」をはじめ多くの遺品が遺族の活動を通じてOBONソサエティに協力しておられ、これまでも各支部遺族会を通して遺品の持ち主遺族を捜索した結果、

「平和を語り継ぐことを責務とする本会とOBONソサエティの活動を広げ知らせることを目的に記者会見が開かれた。会見で、水落会長は、



涙かくした母にへむ

陸軍技手 安藤 武夫

昭和二十年七月七日
フィリピンルソン島カバヤン地区にて戦病死
愛知県北設楽郡稲武町出身 四十歳

無理なのが昔から戦である。

我が子はこの無理を

天皇陛下の為に勇ましく引き受けて征く。

母をして日本の母にしたと思つて征く。

強く生きて下さい。

母上の安座は俺が作つて置く。

先立つ不孝者 安藤武夫

征く日に書く

子は征きて還らぬものと知りながら
涙かくした母にへむ

母上様

(原文のまま)
平成二十九年九月靖国神社頭門前
愛しき母へ



共同記者会見を行う水落会長(左)とマービン氏(右) = 8月13日、千代田会館で

戦争の記憶は色あせることはありませぬ。愛しい肉親を失った辛い苦しい心の傷は癒えることはありませぬ」と述べ、二度に渡り

と同じような思いをする遺族をださないうために、平和の語り部として次世代へ継承する戦没者の孫、曾孫等々つくる青年部の結成について触れた。

また、レックス・ジーク代表は、アメリカには遺品を遺族のもとへ返したいと願う退役軍人とその家族がたいてい、その橋渡し役であるOBONソサエティの活動は奇蹟の積み重ねであると挨拶し、今回遺族へ日章旗を返還するために来日

マリアナ諸島慰霊巡拝 関係遺族の参加者募集

日本遺族会では、マリアナ諸島戦跡慰霊巡拝の参加者を募集している。

募集要項は次のとおり。

▼実施時期 平成二十九年十一月二十七日(月)から十二月一日(金)の四泊五日で予定。

▼実施地域 グアム島、サイパン島、テナリアン島等を予定。

▼参加資格 マリアナ諸島及び周辺海域で肉親を亡くされた戦没者の関係遺族(妻、遺児、孫、ひ孫、兄弟、姉妹、甥、姪、配偶者等)

▼参加人数 20人(予定) ※募集人員を上回った場合は優先となる。

▼参加費用 30万円前後

▼参加人数がより費用及び実施地域は変更する場合があります。また、集合場所の東京までの往復交通費等は別途個人負担と

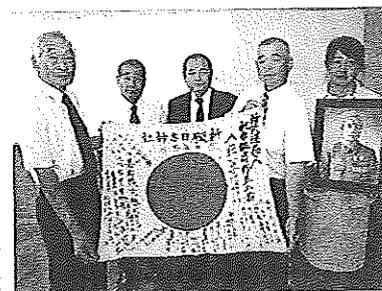
福島県で日章旗返還 OBONソサエティ

OBONソサエティから本会に届いた高野氏の日章旗について福島県遺族会へ遺族の捜索を依頼していたところ、いわき市遺族会や田人町遺族会の協力を得て、甥の高野さんがいわき市内に在住していることが判明した。

フィリピン・ルソン島クラークで戦死した高野氏の日章旗は、インディアナ州在住のロニー・ニコルソンの父親(元米兵)が戦地から持ち帰ったもので、ロニーさんは父親が亡くなる前に、旗を遺族のもとへ返

したマービン・ストロンボさんを紹介した。サイパン島で戦死した日本兵の日章旗を持ち帰ったストロンボさんは、「いつか必ず遺族のもとへ返すと(日本兵の遺体

に約束した」と語り、八月十五日の岐阜県白川村での返還式で遺族に直接思いを伝えたいと述べた。会見の最後には、今回OBONソサエティが持参した遺族が判明して



日章旗を受け取る甥の高野さん(右から二番目) = 8月10日、いわき市田人支所で(写真提供:いわき民報社)

る日章旗一枚と軍用手帳が水落会長へと引き渡された。これらの遺品は、すでに遺族へと届けられており、本会を通して返還された遺品は五十七件となった。

戦跡巡拝・慰霊の旅
JTBコーポレートセールスにご相談下さい。

海外参観・思い出の会・追悼集会などの企画をお手伝い致します。お一人様から団体旅行まで、皆様の旅をアレンジ致します。

- ◆過去の取扱方面
- ◆フィリピン
- ◆中国・旧満州
- ◆トラック・パラオ諸島
- ◆ミヤンマー
- ◆バブアニューギニア
- ◆ソロモン諸島
- ◆旧ソ連 他



詳しくはお電話ください。
株式会社 JTB コーポレートセールス
霞が関第四事業部

〒100-6051 東京都千代田区霞が関 3-2-5
霞が関ビルディング 23階
TEL: 03(6737)9324
FAX: 03(6737)9328

営業時間: 月～金曜/9:30～17:30
(土・日曜・祝日・振替及び12/30～1/3休業)
担当: 川邊 安行(かわなべ やすゆき)